

# ごあいさつ



皆様には、平素より都城信用金庫をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

本年も当金庫の経営内容をご理解いただくために、ディスクロージャー誌「都城信用金庫の現況」を作成いたしました。本誌では、当金庫の経営方針や財務内容をはじめ、業務内容、地域貢献活動等について、わかりやすくご案内させていただいておりますので、ご高覧くだされば幸いに存じます。

わが国の経済は、政府が推進する成長戦略などにより、マクロでは緩やかな回復基調をたどっているとされておりますが、足元の経済に目を移せば、個人消費や設備投資は力強さを欠き、依然として景気の足踏み状態が続いております。景気の先行きについても、中国をはじめとする新興国経済の減速、英国のEU離脱など欧州情勢の不安定化、トランプ米国大統領の経済政策の行方など、海外を中心とした懸念材料が後を絶たず不透明感がますます高まっております。

一方、当金庫の事業基盤である地域経済は、旧大丸跡地の再開発が開始され、中心市街地の活性化に向け進行しておりますが、人口減少、中小企業数の減少に加え、空洞化といった従来からの構造的な問題を抱え、主要取引先である中小企業においては、厳しい業況が続いており、景気回復の実感を得るには至っていないというのが実情であります。

こうした中、当金庫は、相互扶助の理念に基づく協同組織の地域金融機関としての原点を踏まえ、地域における金融ニーズに適切に対応することにより地域社会の持続的な発展に貢献するとともに、地元中小企業への適切な経営支援、顧客保護、利便性の向上等に積極的に取り組んでまいりました。

また、地域金融機関としての使命を第一に果たすべく、経営努力、業務推進に取り組んでまいりました結果、おかげさまで、平成28年度の決算において、増収増益となりましたことは、ひとえに地域のお客様のお力添えの賜物と感謝しております。

金庫創立以来、皆様方の厚いご支援により今日を迎えさせていただきました。当金庫は平成29年3月、より一層地域のお客様に信頼され、真に地域に必要とされる金融機関となるために、同じ経営理念、目的を持つ隣接する宮崎信用金庫と対等の立場において合併の合意を致しました。

平成30年1月誕生予定である「宮崎都城信用金庫」においても地域に根差した金融機関の姿勢は不変の下、継続していく所存でございますので、尚一層のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年7月

理事長 櫻田 博文